

令和元年度がスタートしました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.64

R1. 8. 4 「北大キャンパスツアー」

キャリア教育の一環として実施している「北大キャンパスツアー」も年々参加者が増え、今年度は約70名もの応募がありました。総合大学を直に見て、キャンパスを歩き、模擬講義を体験することで、生徒はより高い進学意識を持つようになります。

大学到着後、まずはキャンパスの食堂で学生さんと一緒に昼食です。何と言っても、規模の大きさ、メニューの豊富さ、リーズナブルな価格にまずは驚いたことでしょう。その後は各々が目的としている各学部のプログラムに沿って、様々な体験をしてきました。

この日は天候にも恵まれ、緑溢れる大学キャンパスを歩いているだけでも、さぞ気持ちよかったことと思います。この体験をきっかけに、一人一人が今後の進路実現に向けてさらに邁進してくれることを期待したいです。



北大には、昨年度、現役合格した先輩もいます。身近に感じ、続いて欲しいものです。

All for one, and one for all. No.65

R1. 8. 5 「国際協力体験」

グローバル教育は、これからの時代を生きる上で必須です。本校では開校当時から検討を重ね、グローバル教育の推進に力点を置いてきました。この日も、フィール旭川で行われた「高校生国際協力体験プログラム」に4名が参加し、理解を深めました。



JICAの活動を学んだ後、ワークショップでは「バング」というゲームを通して異文化コミュニケーションを体験します。異文化に接した時に、自分がどのように反応するのか、どのように対応すればよいのかなど、実際に異文化の状況の中に置かれている立場で物事を考えます。国際的なコミュニケーションは、自分の文化からの視点ではなく、相手の文化を知ることから始まります。

最後は、マダガスカルで青年海外協力隊員として貢献された方から体験談を伺いました。他校からの参加者も多く、同世代が同じ目的をもって協働しながら取組む姿は頼もしく、また微笑ましくもあります。

何をするにも、自分の目で、耳で、肌で、心で直に感じ取ることが大切です。この度の体験プログラムで学んだことは、今後、自らの意志で様々な課題を解決していく力に繋がっていくものと確信しています。

R1. 8.22~23 「体育大会」

19日に休業明けの全校集会を終え、平常の日課がスタートしました。3年次は今後に向けた受験説明会、1・2年次は休業中の成果を図るGTECと、まずは学習モードへの切り替えからです。

同時に、健康維持とクラスメートの絆を深めることを目的に、生徒会主催による「体育大会」が2日日程で開催されました。学習に専念するには、周囲の環境づくりや心のリフレッシュも大切な要件となります。

種目は、ソフトボール・キックベースボール・サッカー・バレーボール・バスケットボール、大縄跳びとバラエティーに富み、誰もが参加しやすいに考案されています。



【力強い選手宣誓】

年次の枠を外してのクラス対抗戦となっているところも、年次間の交流を大切にする本校ならではの特色です。学校祭で使用したクラスTシャツを着用し、クラス毎に固まって声援する姿は活気があり清々しくもあります。圧巻は、全員参加によるクラス対抗リレーでしょうか。全校生徒が見守る中、バトンが各クラスの結束をより強固なものにしていくのが伝わってくるようです。



競技に勝敗は付きものですが、皆でスポーツを楽しみ、応援し、信頼を深め合うところに、この行事の主眼があります。

*エイリョウ・アラカルト 「校内に大輪が咲きました」



毎年この季節に、本校職員が見事なダリアを持参してくれます。大きさといい、色合いといい、形といい、「見事！」としか言いようのない実に美しいダリアです。

何気ないお心遣いが、学校を明るくし、職員や生徒を和やかな心持ちにさせてくれます。本当に感謝です！

生徒は、来週から始まる定期考査に向け必死に取り組んでいる真っ最中です。いずれ社会で、このダリアのように美しい大輪を咲かせてくれるものと大いに期待しています。

R1. 8.26 「写真部がまたまた快挙です！」

道高文連上川支部大会で、2年次生 佐藤 滋修 君の作品「残光の中」が最高賞である

「最優秀賞」に輝きました。上川、留萌両管内14校から、総応募数532点の頂点に立ったことは、当人はもちろん写真部の皆さんにもとっても大きな自信と励みになったことでしょう。



薄暮の中を列車が走るとい印象的な構図には、何とも言えない静寂感と清らかな風情が醸し出されています。また、銀雪を染める残光は単に美しいだけでなく、優しさを感じさせる柔らかな色合となっています。

今回の全応募作品は31日（土）から来月5日（木）まで、東川町文化ギャラリーに展示されていますので、機会がありましたら是非ご覧ください。



All for one, and one for all. No.69

R1. 8.30 「警察官が生徒に呼びかけ」

東警察署の皆さんが、生徒の登校時間に合わせ、校門前で「自転車盗難防止」のPRを行ってくれました。特に自転車は簡単に扱えることから、いつ何時持ち去られるかわかりません。日頃から「ツーロックの習慣」を持つよう呼びかけられました。



また、朝の5分を使い、放送室から「振り込め詐欺」についての注意喚起も行っていただきました。被害に遇わないことが話の中心かと思いきや、「うっかり加害者にならないように！」との注意が促されました。優しい言葉で巧妙に誘われ、美味しい話と鵜呑みにし、具体的な仕事内容を明かされないまま、気がつけば、取り返しのつかないことになっていることがよくあるそうです。怖いですね！

短い時間ではありましたが、警察の方が直に語りかけてくれるだけに説得力があります。